

やまなし自然首都圏構想研究会第1回自然首都圏構想推進部会概要

1. 日時

令和2年8月26日（水） 14:00～15:20

2. 場所

山梨県庁本館2階会議室（テレビ会議システム）

3. 出席者

（顧問）田坂広志

（座長）東博暢

（委員）清水喜彦、中村成志、藤沢久美、山崎豪敏 ※五十音順、敬称略

（ 県 ）長崎幸太郎知事

4. 主な意見（意見交換テーマ：ウィズ／ポスト・コロナにおける観光について）

- ・ 富裕層の家族などをターゲットとして、家族で1、2週間過ごせるキッチン付きのホテルスイートルームや自然に囲まれたコテージ等を充実させていくことが必要
- ・ 文化・アートを絡めた観光を推進していくべき
- ・ 観光客への最も効率的で安全な滞在方法の情報提供が必要であり、観光型MaaSを導入していくべき
- ・ リモート勤務の前夜に東京から山梨を訪れ、ワインを楽しみ翌朝はゆっくり起床、仕事を終えたらほうとうを食べて帰るといった、「リモートエクスプレス」の実施によって、東京のライフスタイル革命を提供することできるのではないか
- ・ 今後の観光のあり方として、高付加価値化を目指していくことが必要
- ・ 観光によって山梨を知ることは移住のきっかけとなるものであり、移住意欲を喚起していく取り組みが必要
- ・ ベンチャーの誘致のためには、廃校などを利用しながら、デジタルインフラを整備し安い家賃で提供するとともに、まずは中核となる企業を誘致することが重要。税制面での優遇も考える必要があり、特区の利用も検討すべき
- ・ マイクロアントレプレナーコミュニティなどをいかにブランディングして取り込むかなど、時間軸とターゲットを整理しビジョンを出していくことが必要
- ・ 他自治体に遅れを取らないことが重要
- ・ 河口湖周辺における宿泊施設や研修施設について、宿泊施設の部屋がそのままリモートオフィス、仕事場になるようにしてはどうか など